

# 桜のある水辺風景 2018 応募写真集



日本河川・流域再生ネットワーク

■表紙写真

撮影：桑原秀美 2018年4月@福島県耶麻郡猪苗代町・観音寺川

#### [企画主旨]

JRRN では、水辺の美しさや人々との関わりについて考えるきっかけづくりを目指して、2010 年から毎年「桜のある水辺風景」の写真とメッセージを募集し、作品を写真集としてとりまとめ紹介しています。

2018 年は、26 名の方々より 44 作品 49 点もの素敵な写真をご応募頂きました。

本冊子では、ご応募頂いた皆様の写真を、投稿コメントと共に順不同で掲載しております。

様々な水辺、そして桜の風景をお楽しみください。

#### [著作権の取扱い]

応募作品の著作権は撮影者に帰属します。無断転載等は固くお断りします。

また、二次利用についても認めておりませんので、ご注意ください。

※本写真集は、A4 横サイズ・左綴じ左開き・両面印刷でのプリントアウトを想定しています。



## はじめに

皆さん！今年も素晴らしい写真をたくさんありがとうございました。

皆さんにお寄せいただいた桜の写真テーマは「桜のある水辺風景」です。ではなぜ水辺に桜の木がたくさん植えられているのでしょうか。全国の河川で桜が植えられている堤防は数え切れないほどです。では、桜の木が堤防に多いのはなぜでしょうか。巷間言われているのは「桜の木を植えると、それを見る「花見」のために多くの人々が訪れる。その人たちによって、堤防が踏み固められ盛土された土粒子が圧密されて強度が増す効果を狙ったのだ」と言われています。

このことは、古来の普請技術の高さを示すものです。踏み固めた地盤は強いということを経験的に学び、土木技術にまで高めたのだと思います。この土を突き固めて家屋の壁や城郭の土塁などを建設する工法に「版築（はんちく）」という工法があります。突き固める一層の厚さは約10cmです。そもそもは中国の黄河流域で紀元前から使われていた技術で、この地域が石灰分を多量に含んだ微粒子だったことから発展した工法です。現在では堤防の盛土工事を行う際にこのような版築工法に習った、積層盛土工法が採用されています。現代行われている一回の盛土の厚さは30cmです。一層ごとにきちんと重量建設機械で転圧しています。土手の土はいっぺんにどかんと山盛りになっているのではないのです。

一方、「河川の堤防に桜の木を植えると桜の根が張り土の堤防が丈夫になる」と聞くことがありますが、これは間違いです。桜の根がいくら張っても地盤は強くなりません。むしろ桜の根が堤防の中に広がっていくことは、洪水のときに水道（みずみち）を作り堤防決壊の原因となってしまいます。桜の木が大きく育った結果、年老いた桜の根のせいで堤が緩んで、洪水などに耐えられないと思われる堤防箇所が、全国で増えています。このような場合は土手の盛り土を桜の植栽の幅分だけ広げて、桜が十分に根を広げることができるように改修する事が必要です。

桜の木は、根を横方向に伸ばすという性質があります。枝を広げると同じ面積まで根を張り広げます。根っこは深くは根を伸ばさないので、川辺だけでなく街路樹としてもたくさん植えられている桜ですが、歩道に広げた根っこのおかげで、舗装が割れたり持ち上がってしまったりしていることをよく目にするようになりました。「根上がり」といいます。実はこのことは桜にとっても歩道を歩

く歩行者にとっても良いことではありません。歩道はお年寄りや子供にとっては、でこぼこで歩きづらく危険な場所になっているところもあります。一方桜にとっては地面の浅いところに大きな根がありますので、根を踏み固められると木が弱ってしまうことになります。名木といわれる桜の老木の多くが「立入禁止」となっているのは、人々が近づいて根っこの周りを踏み固められないようにしているのです。

川沿いに植えた桜の枝はなぜ、川面に向かうように下へ下へと伸びるのでしょうか。街路樹や公園などに普通に植えてある桜は上方向と横方向へ伸びて、下向きには枝を広げません。今年お寄せいただいた写真の中にも、川沿いの桜が川面に触れそうなくらい下へ枝を伸ばしているものがありました。それは桜の大きな特徴として「陽樹」である事がその理由です。陽樹とは生育に最低限必要な光合成量が多い種類の樹木のことで、生長にたくさんの光を必要とするため、陽光の当る方向に枝葉が伸びるのです。川の場合は上からの陽光と川面からの反射光があるために、川面に張り出した枝は成長が早く大きくなります。そこで益々水辺に枝葉を伸ばし、水面に近付いて行くのです。

桜の木は水はけがよく適度に湿り気があり、肥沃な土地を好みます。水捌けの悪い場所、地面が固い場所、養分が少ない場所などでは十分に育ちません。そのために土手に植えられた桜は踏み固められた天端には、十分に根を張らすことができません。そこで少しでも柔らかい斜面の方向へ根を広げていきます。これで益々桜は木自体が川に向かって幹を傾けてゆくことになります。大きな傘を広げたような姿になるのです。春の桜が一斉に花開くとき、土手自体が桜に覆われて美しく華やかに見えるのは、この桜の性質によるものだったのです。でもあまり植物学的な分析を重ねると興ざめになってしまいます。

川面の桜は先人達が散る桜の潔さと華やかさを最大限に楽しむために、川面一面を散る花びらが覆うように演出したものだということも忘れたくないものです。

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

代表理事

**土屋 信行**





岩井彩友美/弘前公園の桜と柳川のどんこ舟

柳川のどんこ舟のさくらまつり限定運行。弘前 ver.にアレンジされた船頭さんの舟唄をゆったり聞きながら、お堀から見上げる桜もとても趣きがあります。

2018年4月@青森県弘前市・弘前公園



無題/羅向茂  
2018年4月@山形県中山町



小野寺満/胆沢川神社前の春景色

神社への参道の川沿いに咲く花は、みちのくの遅い春を艶やかに彩ってくれます。人々は橋でしばし立ち止まり春景色を眺めるのです。^^

2018年4月@岩手県奥州市胆沢区若柳



桑原秀美/水温み、桜咲く

暖かな日差しに誘われて繰り出した花見。

温んだ川の水に触れ子供たちも春の訪れを楽しんでいるようです。

2018年4月@福島県耶麻郡猪苗代町・観音寺川



桑原秀美/鯉泳ぐ

天候はあいにくの曇り空。少し寒いぐらいの風が元よく鯉のぼりを泳がしている。

2018年4月@福島県田村郡小野町・夏井川



桑原秀美/千本桜

風が肌寒いほどの曇り空。天気は良くないかもしれない数日限りの今年の桜はやっぱり見ておきたい。

2018年4月@福島県田村郡小野町・夏井川



高橋洋/愉快的仲間

今年の春は昨年より一雌雄も早く待ちに待った春の季節到来、カヤック仲間が久しぶりに再会桜の下でお花見至福の時だ。

2018年3月@栃木県足利市利保町・袋川



上原 励/小幡城下、雄川堰沿いの桜並木

城下町小幡には機会があれば行ってみたいと思っていました。年明けから父が富岡の病院に入院したため、世話のついでに足を延ばしてみました。たくさんの人が訪れていましたね。

2018年3月@群馬県甘楽郡甘楽町小幡・雄川堰



小澤秀行/春爛漫（水戸）

お花見は、桜色の階段で賑わいます。

2018年4月@茨城県水戸市・桜川



本間方生/霞ヶ浦湖畔の桜

桜の咲く時期に霞ヶ浦に行くと桜が点在しています。

今年は開花が早くもう満開の状態でした。

のどかな風景の中で釣り人がたくさんいました。

2018年3月@茨城県・霞ヶ浦湖畔



鶴田舞/桜を愛でる縁側

ぽかぽか陽気の午後、多くの人が川べりや川沿いの道で、穏やかな時を過ごしていました。

治水安全度の向上と桜並木の保全が両立された場所です。

2018年3月@埼玉県朝霞市・黒目川



稲葉修一/引き継がれた風景

河川改修の方法を工夫して残されたという桜並木。未来に引き継がれた風景の遺産です。

2018年3月@埼玉県朝霞市・黒目川



松川正志/菜の花と桜堤

菜の花と桜のコントラスト。

2018年4月@埼玉県幸手市・中川（幸手権現堂堤）



稲葉修一/里川の風景

土手の桜並木の河岸に小さな木の橋がかかっています。人と川の接点に心惹かれました。

2018年3月@埼玉県小川町・兜川

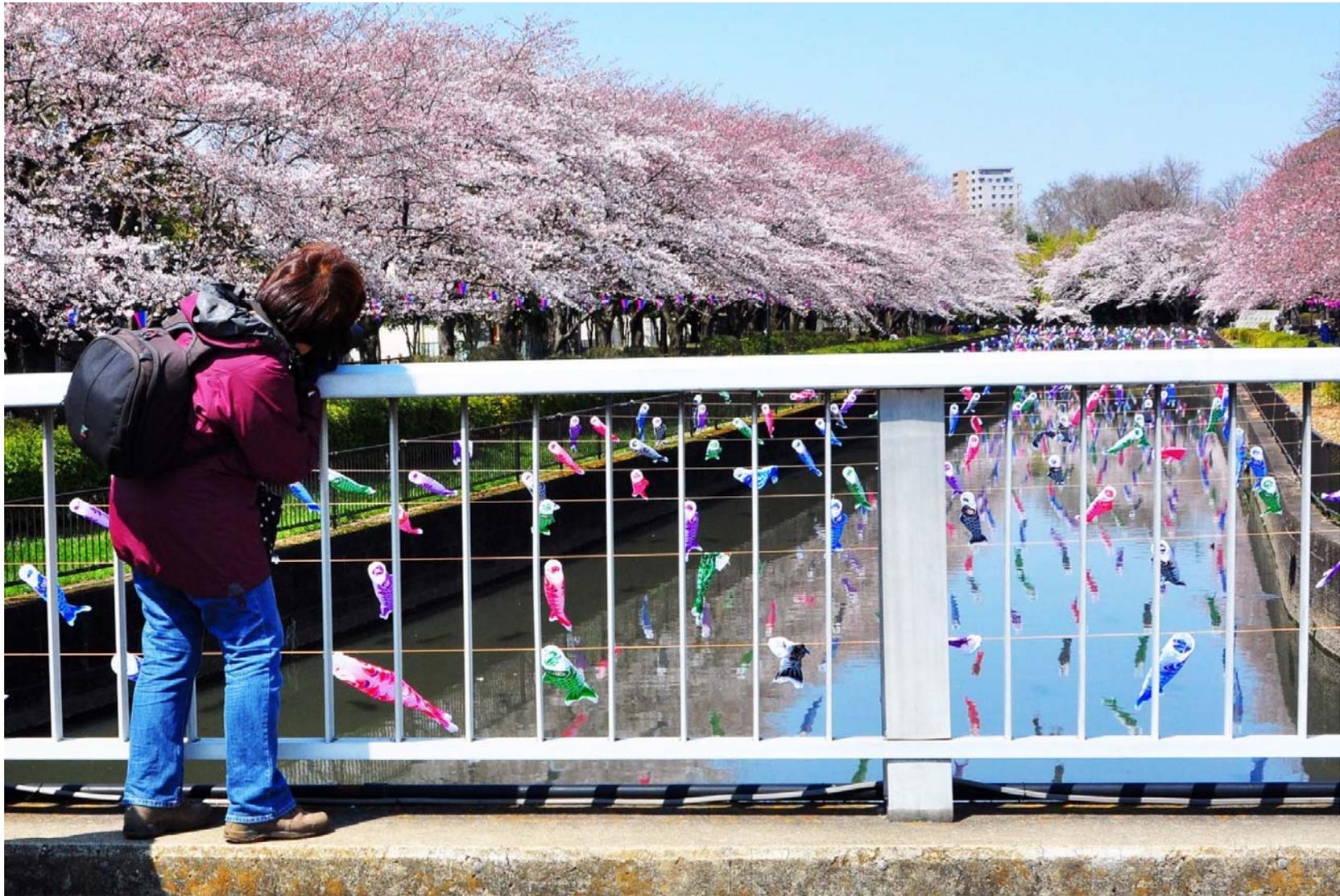


高橋洋/春を満喫

おじいちゃんが作ってくれたマイカヤックでお花見。

いつもと違う角度から見て、まるで魚になったような気持ちだ。

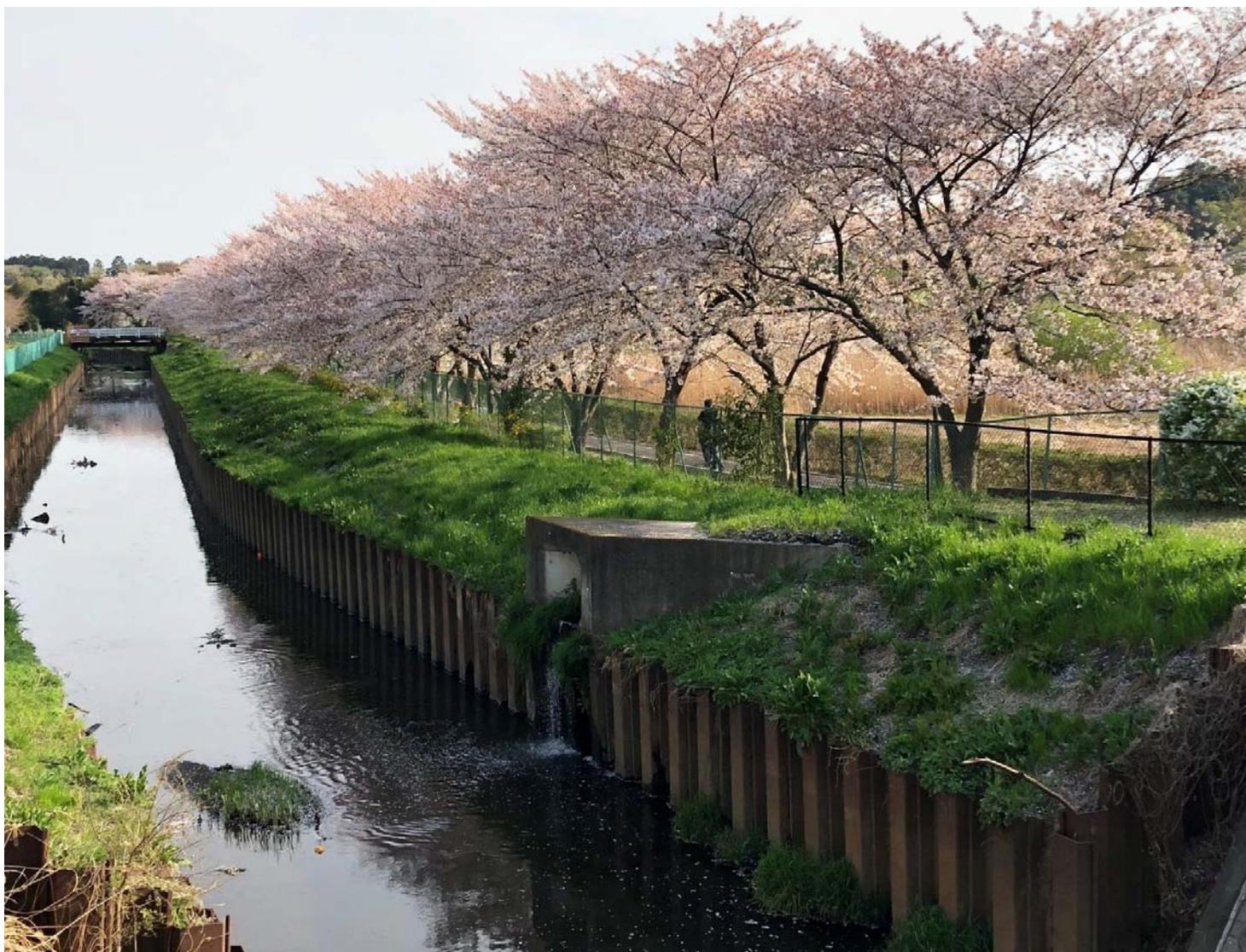
2018年3月@栃木県足利市利保町・袋川



高橋洋/春風を待つ

鯉のぼりの数がギネスにも登録されている有名な観光地、今年は例年より桜の開花が早く多くの観光客が訪れるお花見スポット、カメラマンが風の吹くのを待っている。一斉に鯉のぼりが泳ぐさまは圧巻だ。

2018年4月@群馬県館林市・鶴生田川



都築隆禎/見沼田んぼ桜回廊

もう少し頑張ろう。

2018年4月@埼玉県さいたま市・荒川水系加田屋川



羅向茂/無題

2018年3月@東京都中央区パリ広場・隅田川



東元杏優花/六本木の桜

六本木に映画を観に行った時の帰りに、毛利庭園に寄った時にいろいろな種類の桜がきれいに咲いていましたので撮影をしました。

2018年3月@東京都港区六本木・毛利庭園



竹林薫/桜の花びらと鯉の食欲!!

写真部の活動で撮影しました。

鯉が桜の花びらを食べようとして口をパクパクとしているところを撮影しました。

2018年3月@東京都杉並区・善福寺公園



ギザギザ仮面/3分咲きと8分咲き

二ヶ領用水の桜。

今年もばっちり撮ってきました。雨あがりなので人が写ってません。どちらも。

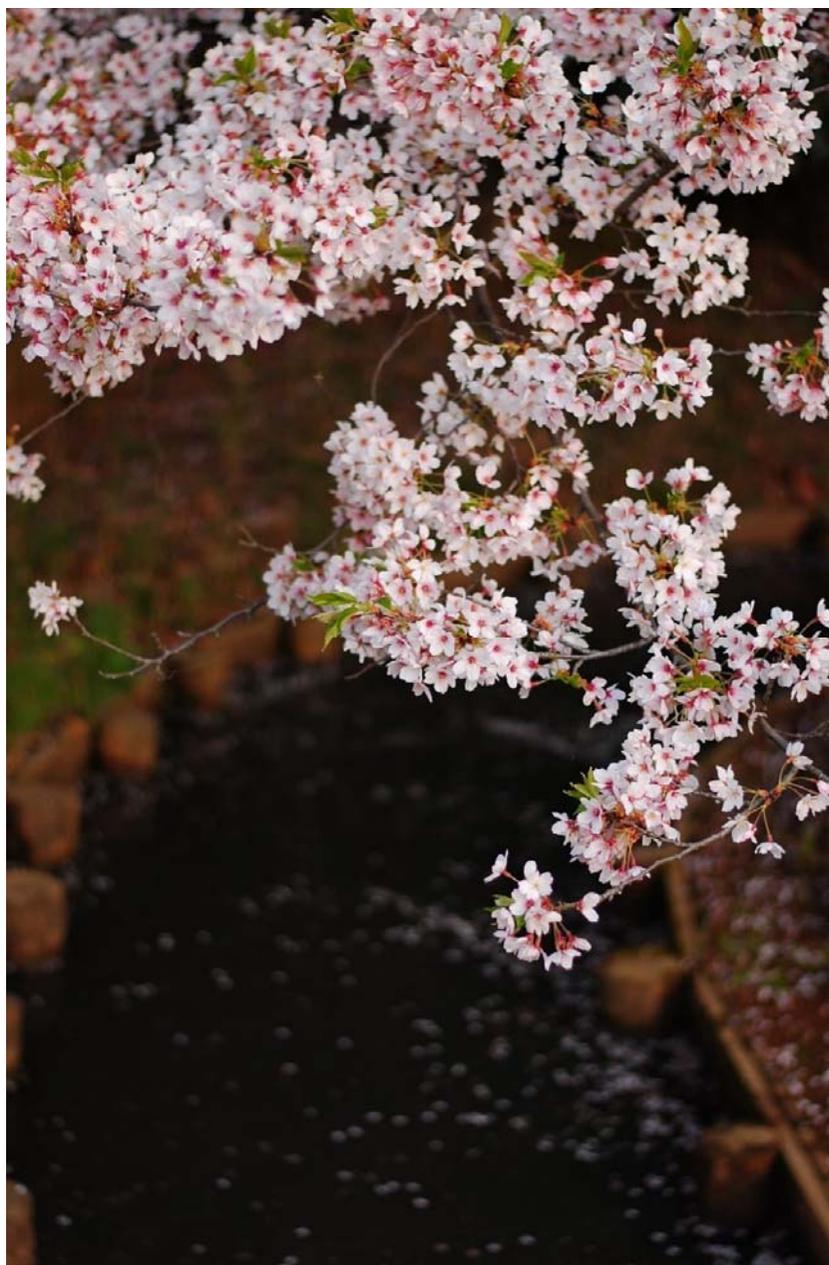
2018年3月@神奈川県川崎市・二ヶ領用水



misaki/sakura

今年はあっという間に満開になりました。

2018年3月@神奈川県横浜市・三溪園



misaki/suiro

かわいい水路です。

2018年3月@神奈川県横浜市・三溪園



関沢元治/ヨシ原と桜

散り進んでいますが青い水面とヨシ原と桜に癒やされます。対岸は羽田空港、桜の奥を飛び立っていきます。

2018年3月@神奈川県川崎市川崎区・多摩川



遠藤昌彦/最明寺史跡公園に咲く桜

最明寺史跡公園は人里離れた山の中にある史跡公園です。

ここは都会の喧騒やざわめきとは無縁の場所で、風の渡る音や鳥の鳴き声しか聴こえない別天地です。

こんな場所で池を眺めながら桜のトンネルを散歩すると心が洗われそうです。

2018年4月@神奈川県松田町・最明寺史跡公園



遠藤昌彦/隈檜を飾るお堀の桜

小田原城は桜で有名な場所で、桜と天守閣、桜と門、桜と橋と言った組み合わせも美しいのですが、私はお堀と桜の組み合わせが一番好きです。

2018年4月@神奈川県小田原市・小田原城



遠藤昌彦/桜咲く津久井湖畔の一日

津久井湖畔にある城山公園水の苑地とった一枚です。当日は良く晴れとても暖かだったため、お花見をする人、ボールで遊ぶ人、そして水辺で遊ぶ人などが居てとても楽しそうに見えました。

2018年3月@神奈川県相模原市・津久井湖城山公園 水の苑地



橋爪修司/忍野の桜

忍野の春、水辺に花と人が集うようです。

2018年4月@山梨県忍野村・新名庄川



加藤晴敏/南伊豆の堤の桜

南伊豆・弓ヶ浜にそそぐ青野川、河口近くは水面が広く緩い流れに自然な護岸。

低い山並みには桜が点在するのどかな風景。

2018年3月@静岡県南伊豆町・青野川





佐合純造/川と桜とねこ

山崎川は名古屋の桜の名所として有名です。3年ぐらい前にも写して投稿しました。今年は偶然、ねこが撮影に協力してくれました。

2018年4月@名古屋市瑞穂区・山崎川



佐合純造/花見と川遊び

二枚目も山崎川です。この日は暖かくて大人も子供も、花見だけでなく水遊びも楽しめました。。

2018年4月@名古屋市瑞穂区・山崎川



鶴田舞/江戸時代からつなぐ桜

堤防と高水敷に約 800 本の桜！

江戸時代からの桜の名所で、堤防拡幅と桜の保全のバランスが検討された場所です。

広げられた堤防の上は、桜のボリュームと開放感を同時に感じられる、心地よい場所でした。

2018 年 3 月@三重県伊勢市・宮川桜堤



高橋一吉/桜舞う琵琶湖疎水

京都蹴上にある琵琶湖疎水は桜が有名です。

満開の時期も美しい景色を見ることができますが、散り始めて花びらが疎水の水面に落ちる景色も美しいです。

2018年4月@京都市東山区蹴上



三宅憲二/お婆ちゃんたちのお花見

話を聞くとお婆ちゃん達は同級生で夏日のように暖かく桜も満開になっているの聞き、仲の良いものどうしでお花見に来たとの事。

2018年4月@京都府南丹市美山



三宅憲二/川面に映る季節

春の気候に誘われてドライブしていると目の前の川に写った桜が見えました。思わずシャッターを押し、少し得をした気分になりました。

2018年4月@京都府南丹市美山町



高橋一吉川沿いのさくらトンネル  
八幡市の背割り堤はさくらトンネルで有名です。  
今回は展望台が出来たので上から桜を見ると、桜色の大蛇が横たわっているように見えました。  
2018年4月@京都府八幡市・背割り堤



河合都章/桜・桜・桜

朝9時すぎに素敵な風景を。

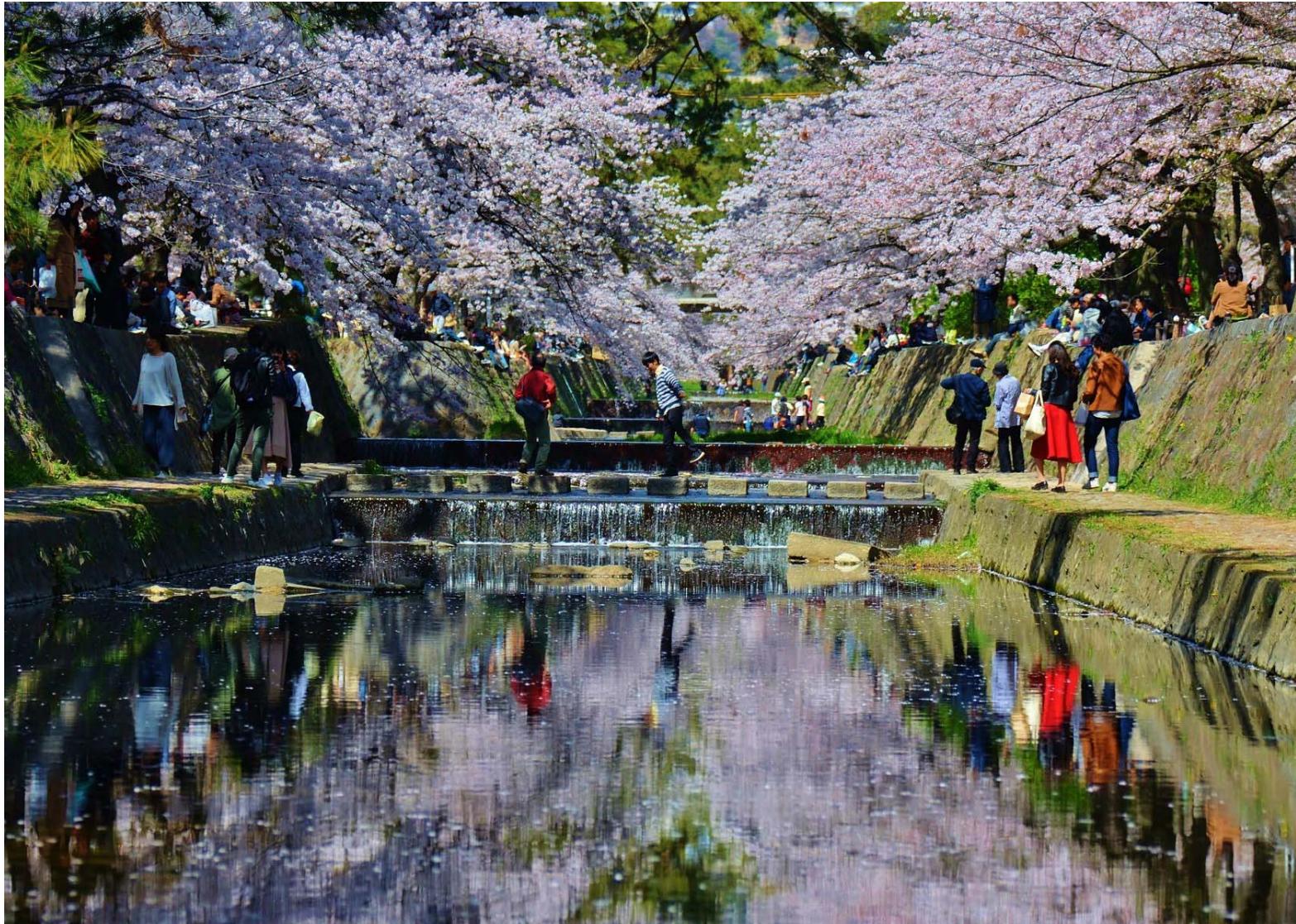
2018年@大阪府大阪市大阪城付近



河合都章/夜に憩

はんなり夜桜を見ながら川の音色を堪能です。

2018年3月@大阪府八尾市・玉串川



高橋一吉/川面も春満開

桜が満開になると夙川にはたくさんの花見客がきます。

お弁当やお酒持参で花見を楽しみます。

2018年3月@兵庫県西宮市・夙川



佐合純造/花見準備中

出張の帰りに立ち寄りました。私が岡山に勤務していたとき（20年前）以来の旭川の桜でした。朝9時ごろで河川敷はまだ花見の準備中でした。桜と岡山城を合わせて撮りたかったのですが、よい場所が見つかりませんでした。

2018年4月@岡山県岡山市・旭川



吉山彰彦/月も夜桜見物かな？  
草場川の桜ライトアップを見ました。ゴミが落ちていなくて、地域の方々の気持ちがうれしかったです。  
2018年3月@福岡県筑前町・草場川



古賀邦雄/寺内ダムの桜

2017年7月5日の九州北部豪雨を思う。

2018年3月@福岡県朝倉市・筑後川水系佐田川



古賀邦雄/比良松中学校の被害

2017年7月5日の九州北部豪雨を悲しむ。

2018年3月@福岡県朝倉市・筑後川水系桂川



古賀邦雄/寒水川の全壊家屋と桜

2017年7月5日の九州北部豪雨のむごさに桜は美しく咲く。

2018年3月@福岡県朝倉市杷木町・筑後川水系寒水川

# 2018 年 DATA

## [応募者一覧]

下記の方々からご応募いただきました。ご協力、誠にありがとうございました。

稲葉修一	桑原秀美	東元杏優花
岩井彩友美	古賀邦雄	橋爪修司
上原勸	佐合純造	本間方生
遠藤昌彦	関沢元治	松川正志
小澤秀行	高橋一吉	misaki
小野寺満	高橋洋	三宅憲二
加藤晴敏	竹林薫	吉山彰彦
河合都章	都築隆禎	羅向茂
ギザギザ仮面	鶴田舞	

(敬称略・五十音順)

## [撮影場所一覧]

ご応募いただいた撮影場所は以下のとおりです（不明なものは除く）。

青森県 弘前市	埼玉県 小川町	三重県 伊勢市
岩手県 奥州市	東京都 中央区	京都府 京都市
山形県 中山町	港区	八幡市
福島県 猪苗代町	杉並区	南丹市
小野町	神奈川県横浜市	大阪府 大阪市
茨城県 水戸市	川崎市	八尾市
栃木県 足利市	相模原市	兵庫県 西宮市
群馬県 館林市	小田原市	岡山県 岡山市
甘楽町	松田町	福岡県 筑前町
埼玉県 さいたま市	山梨県 忍野村	朝倉市
朝霞市	静岡県 南伊豆町	
幸手市	愛知県 名古屋市	

## [スケジュール]

平成 30 年 3 月 1 日 募集開始  
 5 月 30 日 応募締切  
 6 月 27 日 応募写真集公開

## [広報媒体]

ホームページ：

・ JRRN ホームページ：

<http://www.a-rr.net/jp/>

・ 公募ガイドオンライン：

<https://www.koubo.co.jp/contest/picture/photo/042172.html>

Facebook ページ

・ 桜の水辺 Facebook ページ：

<https://www.facebook.com/sakuramizube/>

・ JRRN Facebook ページ：

<https://www.facebook.com/JapanRRN>



桜のある水辺風景 2018 写真大募集

募集期間 平成30年 5月31日 まで

★ 応募概要 桜のある水辺風景（2018年撮影の作品に限り。）  
 ①に本人が撮影した写真に限り。②一人3点まで可能とする個人が特定できる人物像が含まれる場合は被写体の方の了解を得てください。

★ 応募方法 エメールでの応募 Facebookでの応募  
 サイトURL「桜のある水辺風景2018応募」より 1. 「桜のある水辺風景」Facebookページにアクセスしてください。  
 応募は「桜のある水辺風景2018応募」より 2. 応募写真の「撮影日時」を確認してください。  
 ①URL「info@jrrn.net」までメール送信 3. 「コメント欄」に「参加希望」とコメントを入力してください。  
 ②応募写真の撮影日時を必ず入力してください。 4. 「応募する作品の枚数」を入力してください。 (0-7)

★ 注意事項 ①Facebook及び写真集形式（PDFで6月公開予定）で紹介します。②応募作品を紹介する際には氏名を掲載します。③同一作品での応募した作品は事務局により写真集掲載作品を選定して頂く場合があります。④応募内容が本企画の趣旨に合わないと思われる場合は紹介を控えて頂きます。⑤JRRNの発行物やウェブサイトで使用させて頂くことがあります。⑥応募作品は高画質で提供します。  
 ※応募に関する詳細情報はこちらから：<http://jp.a-rr.net/ja/news/info/883.html>

桜のある水辺風景 2018 応募シート	
氏名	メールアドレス
連絡	写真コメント (Facebookで応募された方のみ入力してください)
撮影年月	撮影場所 (例：〒100-0001, Chitose, Tokyo, Japan)

主催：日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 応募先・問合せ先：info@a-rr.net JRRN

応募チラシ



## 桜のある水辺風景 2018 応募写真集

発行日：2018年6月29日

発行者：日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）

連絡先：〒104-0033

東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階

（公財）リバーフロント研究所内 JRRN 事務局

Tel：03-6228-3865 Fax：03-3523-0640

E-mail：[info@arr.net](mailto:info@arr.net) , URL：<http://www.arr.net/jp/>

Facebook：<https://www.facebook.com/JapanRRN>

JRRN 事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

 公益財団法人  
リバーフロント研究所

 建設技術研究所  
国土文化研究所